

和歌山大学FDにおける公開授業と授業検討会

川 本 治 雄
(和歌山大学教育学部)

和歌山大学は経済学部、教育学部、システム工学部の3学部で構成される学生数4,048名、教職員427名(附属学校を除く:2003年5月)の地方の国立大学である。

和歌山大学においては平成10年3月のFD研究会を組織したのがFD活動の取り組みの始まりである。それまで、個人やグループで取り組まれていた教育を考える諸活動を、大学として新たな視点から取り組もうとFD活動を推進することになった。翌年度4月には、FD研究会はFD推進委員会に引き継がれ現在に至っている。

1. 公開授業と「公開授業についての検討会」

平成15年度で6年目となるFD活動は、最初の取り組みとしての「啓蒙・定着」の時期を経て、大学全体の教育活動の向上と個々の教員の授業改善を図ることに重点を置いてすすめてきた。

当初、研究会の形でFDについて議論したり検討したり、他大学におけるFDの実施状況の調査研究、講演会やシンポジウムなどへ各学部から選出された推進委員を派遣し、FDについての理解を深め、より多くの本学教員にFDについての理解と協力を求める取り組みを展開した。平成11年度には5回、12年度にも5回、13年度は14回、14年度は13回の公開授業を実施してきた。(15年度は12回の予定)このように公開授業は定着しつつあり、公開された授業についての「授業検討会」を継続して行い、検討会の様子を「報告書」で年度ごとに公開している。この公開授業の実施は、全国の国立大学の中では早くから行われ、3学部という地方国立小規模大学でありながら5年間で50回を数えようとしている。(平成10年度、11年度、12年度、13年度、14年度と各年度の『和歌山大学FD報告書』を発行している。また、13年度、14年度にはFD推進委員会と協力関係にある自主的な組織としての「魅力ある大学授業を研究する会」による『公開授業と授業改善』も発行され2冊目を数える。なお、本年度もこれらの報告書の発行が予定されている。)

このように、本学のFDの取り組みは、公開授業と「公開授業についての検討会」を重要な柱として位置づけている。この公開授業は、経済学部、教育学部、システム工学部の各学部からおこなわれ、①講義(授業)についての目標、②公開された講義(授業)のシラバス上での位置付け③授業展開や授業方法・授業技術などについて、公開授業直後または放課後に行われる検討会で論議される。回を重ねる中で、検討内容の深まりがみられ、様々な角度からからの参観者の専門分野の意見が反映した具体的な教育方法や指導技術に関わる論議が展開されてきた。こうした、検討会の様子は録画されまとめの冊子に掲載されている。

2. 年間の活動を総括する意味での和歌山大学FDフォーラムの開催

FDフォーラムは、FD活動の取り組みを本学に「広める」意味を持つ。平成15年

度で第4回を数える。本年は、二つの点でフォーラムについての改善を図った。その一つはフォーラムへの学生の参加である。もう一つは、基調講演を取り入れ学外者からのFDの取り組みについて「振り返り」をおこなったことである。

フォーラム初年度の平成12年度は、本学の教員を中心にフォーラム・シンポジウム・ワークショップという形をとってFDプログラムを運営し、各年度1回の開催を継続してきた。第4回を数える本年度は11月19日（水）午後1時30分からインターアドミSSIONの佐藤龍子氏を迎え和歌山大学の現状にも触れ本学FDの課題を具体的に問題提起していただいた。その後3学部からのそれぞれの代表者による「私の授業改善」についての報告をおこなった。各報告ごとにゲストコメンテーターの田中毎実教授（京都大学高等教育研究開発推進センター）からの具体的なコメントを受け、学内コメンテーターの川本（FD推進委員会委員長）のコメントも交え報告された内容を深めた。ここでの大きな課題は、教職員の積極的な参加意欲をどのように高め、日々の教育実践に繋いでいくかということである。

3. メタ研究会の開催

昨年度より開催しているメタ研究会は、「和歌山大学のFDの取り組みを振り返り総合的な検討を加え、中期計画・長期計画を検討すること」を大きな目標としている。FD活動の現状を整理することと将来構想を描き、具体化に向けての取り組みを提起することに意義がある。

当初、公開授業と検討会は開催すること自体が目的で、成果の活用というところまで至らなかったが、平成14年度にメタ研究会と称して、検討会そのものの構造をどのようにするのかという課題意識により、授業後の検討会の論議を有機的に授業改善に生かしていく方策をとることになった。さらに、FDをどのように大学の組織の中に位置付け大学改革とどう関わっていくのかという論議も必要な段階にきている。

4. 第1回FD報告会の企画・実施

本年度、「教職員の関心を高める活動」としてのFD報告会を放課後の時間帯にFDフォーラムに先行する形で開催した。このFD報告会の開催の趣旨は、①和歌山大学絵のFD活動の取り組みについての概要を知り、取り組みの現状を共有すること②これからのFDの取り組みの方向を大学改革との関わりで位置づけることの2点であった。

本学の取り組みを支えるものとして学部単位での組織的な動きがある。経済学部FD推進委員会では、専門教育科目における授業評価アンケートを実施し検討していたり（全学では、基礎教育科目で授業評価アンケートを実施）平成11年度より隔年で「私の授業改善」（小冊子）を発行したりしている。またシステム工学部においては学部行事としてFDについての取り組みを位置付け、合わせて学部独自の公開授業を開催している。本年度よりシステム工学部内にFD委員会が立ち上げられた。教育学部では全学選出の推進委員により学部内の取り組みについての推進を図っている。こうした、独自の取り組みも含めて全学の状況を交流することが重要であると考えている。

公開授業と授業検討会を中心に、以上のような4つの取り組みについての成果と課題を明らかにしながらFDについての推進に努めている。